

‘小児脳幹部神経膠腫の治療成績（東北・新潟地方における多施設共同研究）’  
（当院倫理委員会整理番号 2013-359）  
におけるご協力のお願い

当科は、‘小児脳幹部神経膠腫の治療成績（東北・新潟地方における多施設共同研究）’について共同研究をすすめております。

小児脳幹部神経膠腫症例の生命予後は 1 年程度と言われており非常に厳しい病気です。また小児脳幹部神経膠腫の患者さんは非常に少なく、臨床研究の対象外となることが多いため、正確な治療成績や問題点に関する報告も少ないです。また稀少症例であるため東北地方及び新潟において国内多施設共同研究を行い、過去の小児脳幹部神経膠腫症例の治療内容と予後を調査し、治療成績と治療上の問題点を明らかにし、今後の治療向上に向けた方策を検討すること最終目標としています。

対象となる患者さんは 1988 年 1 月から 2014 年 6 月までに下記の各施設で加療を受けた 16 歳以下の小児脳幹部神経膠腫症例です。参加施設は、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、新潟大学の 7 大学の脳神経外科教室です。

病院に保管されているカルテによる調査が主体ですので、本人及び家族へのインフォームド・コンセントは行われません。調査項目としては、年齢、性別、放射線照射範囲、照射量、化学療法の内容、手術の有無、術後療法の副作用、治療前後の患者さんの状態、追加治療の内容、再発までの期間、生存期間などを調べ、解析は弘前大学にておこないます。画像、病理組織の受け渡しはなく、データは匿名化して行われます。

個人情報開示等（カルテ開示）の求めに応じることは可能です。問い合わせ先、及び苦情の申出先は以下の通りです。

弘前大学大学院医学研究科脳神経外科  
青森県弘前市在府町 5  
TEL: 0172-39-5115  
研究総括者：教授・大熊洋揮  
研究責任者：准教授・浅野研一郎